



2018年4月16日

イオン株式会社

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

イオングループ、Visa のタッチ決済を導入

～2020年に向け、イオングループ約10万台のレジに導入、日本のキャッシュレス化を推進～

イオン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表執行役社長：岡田 元也、以下イオン）は、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：安瀨 聖司、以下 Visa）が提供する、国際標準規格の Type A/B（※）による非接触決済（以下、タッチ決済）を導入することを決定しましたのでお知らせします。2019年3月から2020年3月にかけて、全国の総合スーパーやスーパーマーケット、ドラッグストアなどイオングループ各店約10万台のレジに Visa のタッチ決済が可能な決済端末を順次導入いたします。

Visa のタッチ決済は、日本を含む世界 70 以上の国と地域で展開されている、国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。店員にカードを渡すことなく端末にタッチするだけで支払いが可能で、「安全・安心」で「迅速な」決済方法です。イオングループでのお支払いは電子マネー「WAON」やクレジットカードなどを中心に現金以外での決済比率が高まっています。この度の Visa のタッチ決済の導入により、さらなるキャッシュレス化を推進してまいります。

既にヨーロッパやオーストラリア、アジア各国においては、国際標準のタッチ決済が広く普及しています。今後、東京で開催される 2020 年のオリンピックに向けて訪日外国人の増加がますます見込まれる中、イオングループは「安全・安心」で「迅速な」国際標準のタッチ決済を導入することにより、お客さまの日々のお買物はもちろん、訪日外国人のお客さまにおいてもさらなる利便性の向上を図ってまいります。

Visa は、消費者と加盟店により安全で利便性の高い決済手段を提供し、国内決済市場においてキャッシュレス化を推進することを目指しています。Visa は先月より、新ブランディングキャンペーン「New Normal」を展開しており、支払いの進化で、明日の当たり前を作ることを推進しています。この度のイオングループにおける Visa のタッチ決済の導入は、今後の国内のキャッシュレス化の加速に大きなインパクトを与え、支払いにおける新しい当たり前(New Normal)を醸成するものであると考えています。

イオンと Visa は、2020 年に向けてますます活発な消費動向が見込まれる中、国内のお客さまはもとより、訪日外国人の皆さまが、安全性、利便性、将来性の高い決済手段によるメリットを最大限享受できるよう、また日本におけるキャッシュレス化推進の一助となるべく今後も引き続き連携してまいります。

（※）Type A/B（ISO 14443）は、非接触 IC カードインターフェースの規格として ISO で規定された国際標準の無線通信技術です。

■お支払イメージ

従来	導入後
 <ul style="list-style-type: none"> ・決済完了まで、店員とのカードの受け渡しが必要 ・決済完了まで、通信時間を含めトータルで時間がかかる 	 <ul style="list-style-type: none"> ・カードはお手元のまま、かざすだけでスピーディーに決済 ・世界標準のセキュリティにより、カード偽造や悪用リスクが低減

■イオングループでご利用いただける決済サービス

従来よりご利用可能な決済サービス	2019年3月～2020年3月までに追加
	

■イオンカードについて



※券面イメージ

イオンカードは国内で約 2800 万枚発行されているクレジットカードです。
 Visa ブランドのイオンカード全券種（一部交通系提携カードを除く）について、2018 年 9 月からおよそ半年間にかけて、Visa のタッチ決済機能を搭載したクレジットカードの発行を順次開始致します。
 本カードは電子マネー「WAON」（プリペイド）と Visa のタッチ決済（クレジット機能）を兼ね揃えたカードです。尚、イオンカードは株式会社イオン銀行が発行し、イオンクレジットサービス株式会社が募集します。

以上